



## 町長からのメッセージ

# 津波防災まちづくりに向けて

「このまま想定外として放置することはできない」と語る田村町長。  
防災対策の基となる「津波ハザードマップ」が完成し、津波防災まちづくりに向けた今後の対策について田村町長に聞きました。

1000年に一度の大津波を想定した吉田町津波ハザードマップ（津波災害予測地図）が出来上がりました。当町の海岸に襲来する津波の高さは最大8・6メートル、浸水域は海岸から2キロにも達する海抜5メートル以下の地域。このような数字は7月16日に開催された都司先生の防災講演会の内容からある程度は予想をしていたものの、具体的に色別で浸水の深さが分かる浸水域が表示された津波ハザードマップを手にしますと身が引き締まる思いがします。

最後に、その大津波による被害を最小限にするにはどのような対策を講ずればよいのかといった一連の流れを具体的に分かりやすく説明することが求められています。今回の津波ハザードマップの完成によって大津波の態様と被害についてはほぼ理解することができましたので、今後は具体的な大津波対策をお示しすることになりませんが、そのうち、被害の最小限化を狙ったインフラの整備としては海岸線の防潮堤の強化、坂口谷川の水門の設置、港の津波堤の強化、避難タワーの建設、大井川や坂口谷川などの堤防のかさ上げなどであり、町民の皆さまが避難所において避難生活を送るための生活インフラの整備としては非常用の発電機や入浴セットの導入やトイレを含めた給排水設備の強化、家族



の生活ユニットの確保などであり、更には、町民や企業の皆さまが運営する自主防災組織の強化などが挙げられます。

**津波ハザードマップが物語るもの**

今年の『広報よしだ』8月号の「津波防災まちづくり①」でお話ししましたが、今回の津波ハザードマップが描いた1000年に一度の大津波は、1498年8月25日に発生した明応東海地震による大津波を想定したものです。7月16日の防災講演会において、都司先生は当町周辺の海岸にも8メートルから10メートルの津波が押し寄せたと古文書に記されていると紹介されましたが、「吉田町津波ハザードマップ

」によれば、想定される最大の津波高は8・6メートルであり、古文書の記述の正確さが裏付けられたこととなります。

出来上がった津波ハザードマップは津波高が最大8・6メートルであることのほかに、津波の第一波は地震発生後4分から6分の間に海岸に到達すること、海岸から2キロに及ぶ海抜5メートルまでの地域はほぼ浸水し、浸水の深さは海岸では10メートルに達することを明らかにしています。町民や企業の皆さまが3月11日の東日本大震災の巨大大津波を見て膨れ上がった不安は当町を襲うかもしれない想定外の津波の正体であり、その想定外の津波による被害の実態予測ではなかつたでしょうか。

## インフラ整備など具体的な大津波対策を示していく



●津波防災まちづくりのため、現地を視察する田村町長  
(上)東日本大震災の津波で機能を果たせなかった防潮堤（岩手県宮古市）  
(中)津波の被害を防いだ防潮堤（岩手県普代村）  
(下)北海道南西沖地震の津波から復興を成し遂げた北海道奥尻町の防災施設



津波ハザードマップに目を凝らせば、住吉と川尻の人家密集地域はほぼ津波に覆われ、家屋や人命に甚大な被害が及ぶことは一目瞭然です。大津波による被害を最小限にするための取り組みに一刻も早く取り掛からなければなりません。

## インフラの整備について

6月14日に国土交通省の三井副大臣(当時)が記者会見の席上で発表した『国土交通省における東日本大震災の復旧・復興に向けた対応』によれば、「一線防御から多重防御へ」地域ごとの特性を踏まえ、ハード・ソフトの施策を組み合わせた津波防災まちづくり」の記述がなされ、「減災」の考え方が強調されています。

この多重防御の考え方は、これまでの防潮堤や堤防で津波を食い止める「一線防御」の発想を転換し、津波が防潮堤や堤防を乗り越えて市街地に到達することを予め想定し、津波避難ビルや津波避難タワーなど高台への避難によって人命への被害を少なくしようとする発想に移行しようとするものであり、津波の規模で言えば、数十年から数百年に一度の規模の津波に対しては防潮堤や堤防によって人命や家屋などの財産を海岸線

の一線で防壁し、それを上回る数百年から数千年に一度の規模の津波に対しては家屋などの財産は被害を受けても避難ビルや避難タワーによって人命だけは何としても守るという考え方に他なりません。

しかしながら、当町がとるべき津波対策のインフラ整備は「多重防壁」の考え方に必ずしも同調するものではありません。『広報よしだ』8月号において、冒頭に『3月11日の東日本大震災は、吉田村の誕生から吉田町への衣替えを経て今日に至るまで発展し続けてきた当町の歩みを確実なものにするための、「津波防災まちづくり」の強力な推進を迫っています。その理由は町民の皆さまが当町の地図を広げ、その立地と発展を考えれば、容易に理解できるはずですよ』とお話ししました。そして、1位は「地震が来たらすぐ高台に逃げることを徹底する」、2位が「住宅などを高台に移転する」、3位が「高台に避難する階段や道路を整備する」、そして4位が「防潮堤などを整備する」という結果に

## 甚大な被害が及ぶことは一目瞭然 一刻も早く取り掛からなければならない

なった日本世論調査会が6月11日・12日の両日に実施した防災に関する全国面接世論調査に触れました。そして、当町の「津波防災まちづくり」について次のように締めくくっています。『確かに、人命に限って言えば、その通りでしょう。しかしながら、企業の生産活動の継続も当町の豊かさの不可欠の要件ではないでしょうか。そうだとすれば、当町の「津波防災まちづくり」は町民の皆さまの人命と財産、および企業の当町における生産活動の継続を保障する防災を第一義とし、それが駄目であれば、その時は人命だけでも救う減災を第二義とする方針に沿って進めることになるものと考えます』

6月6日に国土交通省に大島大臣(当時)をお訪ねし、この津波防災まちづくりの基本方針に基づくインフラ整備についてお話ししました。その席で三井副大臣(当時)に当町の津波防災まちづくりの考え方を日を改めて聴取するように指示が出されたことを受け、6月22日に詳しくお話しすることがで

きました。津波防災まちづくりに多額の費用が掛かります。大事なことは、津波防災まちづくりが絵に描いた餅にならぬように国や県に何度も何度も足を運び、迷惑がられても誠意を尽くして当町の津波防災まちづくりへの関与をお願いすることだと考えています。当町の海岸は国の直轄海岸であることから防潮堤の整備は、国や県の所管、また河川の堤防のかさ上げは大井川が国、坂口谷川が県の所管、坂口谷川の水門は県の所管であり、当町が単独で建設できるのは津波避難タワーだけとなります。当町が単独で建設できる避難タワーですら、建設費のことを考えれば国や県に補助金をお願いをしなければなりません。それ故、津波防災まちづくりには、いかにして国や県の関与を取り付けるかが事業の成否を分けることとなります。

## 避難所の整備について

今回出来上がった津波ハザードマップは、現在の防潮堤のままで1000年に一度の大津波に襲われた場合、海岸から2キロまでの海抜5メートル以下の地域は最大で10メートルの浸水深の被害を受けるものと見積もられています。そうであれば、

## 津波防災まちづくりに向けた主な出来事

- 5月
    - 町独自の津波ハザードマップ作成を東京大学地震研究所都司准教授に依頼
    - 緊急津波避難訓練を実施
  - 6月
    - 町長ほか担当職員が被災地の岩手県を視察
  - 7月
    - 東京大学地震研究所都司准教授の「防災講演会」を実施
  - 8月
    - 県内でのメイン会場として「総合防災訓練」を実施
  - 9月
    - 町長ほか担当職員が北海道奥尻町を視察
  - 10月
    - 自治会役員などを対象に防災行政ラジオ無償配布の事前説明会を開催
  - 11月
    - 町議会議員や自治会役員などを対象に津波ハザードマップのデザイン検討会を実施
    - 津波ハザードマップが完成
    - 企業、町議会議員を対象に津波ハザードマップの説明会を実施
  - 12月
    - 津波ハザードマップ配布
    - 防災行政ラジオ全世帯に無償配布
    - 津波ハザードマップの住民説明会を実施(地区別は17・18日開催)
- ※3月末までに津波避難計画を策定予定

住吉と川尻の人家密集地域では家屋などの損壊の被害は大きく、多くの町民の皆さまが避難所での生活を余儀なくされる事態を甘受しなくてはなりません。

この避難生活が長期に及ぶことが予想されますので、避難所として想定される住吉小学校、中央小学校、自彊小学校、吉田中学校などの施設を避難生活が送れるように生活インフラの整備をしなければなりません。その内容としては、非常用の発電機や入浴セットの導入やトイレを含めた給排水設備の強化、家族の生活ユニットの確保など微に入り、細にわたったの避難所での生活に思いを馳せた対策を講じる必要があります。このような問題の解決のために東日本大震災の避難所生活のさまざまな情報を収集するように各課には指示を出してありますが、今後は各課ごとそれぞれの所掌する事業について必要な情報をまとめ、具体的な施策として事業化を検討するよう改めて明確な指示を出したいと思います。

大津波の襲来から発災直後の対策、避難所での生活に至るまで具体的な事業について段階的にまともな上げようと考えています。